

愛媛県知事 中村時広 様

## 伊方原発を稼働させないでください —フクシマを繰り返さないために—

東京電力福島第一原発の事故によって、多くの住民が、生命を脅かされ、財産・ふるさとを奪われ、人生を根本から変えられてしまいました。「絶対に福島のような事故を起こしてはならない」と住民だれもが強く思っています。福島第一原発では、今も危機的状況の中で収束に向けての作業が続いていて、人類は原子力を制御することも、事故後の汚染や危機を消し去ることもできないという実態を見せつけています。

福島原発事故の直後から、「津波以前の地震動によって、原子炉の重要部分に破壊が起こった疑い」が指摘されています。このことは、沖合約6 kmに中央構造線活断層帯が走る伊方原発にとって、極めて重大な問題です。また、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会」は、巨大地震の震源域を伊方原発のほぼ直下にまで拡大しています。

伊方原発で過酷事故が発生した場合、全国で唯一内海に面していることから、閉鎖性水域である瀬戸内海を死の海に変えてしまいます。福島の経過から見て、四国4県はもとより国内の広い範囲に被害をもたらすことは明らかです。

住民の生命と環境を守る責務があり、四国電力との間に安全協定をもつ愛媛県知事に求めます。被害が想定されるすべての府県や市町村と四国電力との間の安全協定締結を促進しつつ、「絶対に事故を起こさない」ことを確実にするために、伊方原発を稼働させないでください。また、福島第一原発4号機燃料プールで危険な状態が続いていることに対応し、伊方における使用前後の核燃料等の厳重な管理を求め、廃炉への道筋についても明らかにさせてください。

ついては、次の点を申し入れます。

- ① 伊方原発を稼働させないでください。
- ② 核燃料等の厳重管理も含めた廃炉計画を、政府及び四国電力に作らせてください。

氏 名	住 所

締め切り 第1次=2012年9月末、第2次=同12月末

署名呼びかけ団体

取り扱い団体



### 伊方原発をとめる会

790-0003 愛媛県松山市三番町5-2-3ハヤシビル3F  
電話 089-948-9990 FAX 089-948-9991  
HP <http://www.ikata-tomeru.jp>

署名にご協力をお願いします。

## 伊方原発を稼働させないでください —フクシマを繰り返さないために—

福島第一原発事故では、多くの住民がふるさとを奪われ、人生を根本から変えられてしまいました。今も福島第一原発では危険な状況が続いています。

この事故では、津波が来る前の地震による振動で「原子炉に破壊が起こった疑い」が指摘されてきました。「国会事故調」の報告も、その危険性を指摘しています。

これは、伊方原発にとって極めて重大です。沖合わずか6 kmに中央構造線活断層帯があります。全国で唯一、内海に面しています。過酷事故が起これば瀬戸内海を死の海に変えてしまいます。

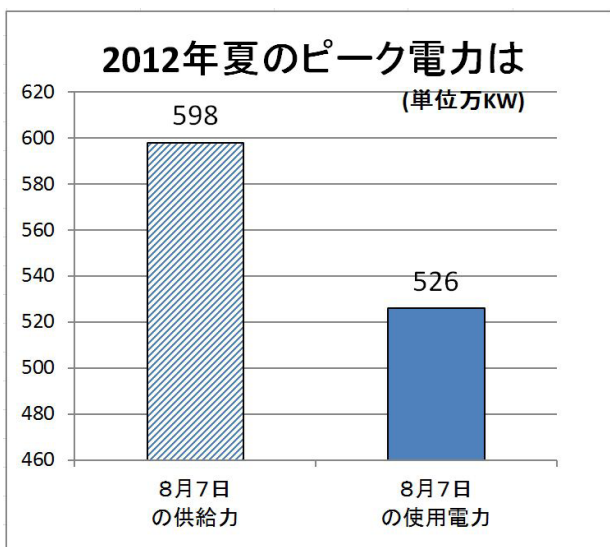
私たちは、四国電力との安全協定をもつ中村知事に求めます。

- ① 伊方原発を稼働させないでください。
- ② 核燃料等の厳重管理も含めた廃炉計画を、政府及び四国電力に作らせてください。



**「原発なし」で、この夏の電力は足りていた！**

**既存の水力も十分活用しつつ、自然エネへの転換を急いで！**



四国のこの夏の最大使用電力は、8月7日の526万KW。供給力は、598万KWと報じていました。かなりゆとりがありました。

「電力不足」と言われていましたが、一昨年まで30万KW程度を関西電力などに売っていたのです。これらも含めて原発に「4割依存」と宣伝されていました。

四国には水力発電所が多数あります。かつては基盤電力でした。今はかなりが調整用にされています。既存の水力発電所を徹底活用すべきです。小水力発電、太陽光や風力発電、さらにバイオマス、バイオガス発電など、四国には多

様な自然エネルギーの可能性ががあります。火力発電所もエコを重視したコンバインドサイクルへの転換が流れです。決断すれば原発なしでやれるのです。

稼働させないよう声をあげましょう。署名を広げましょう。きっぱりと方向転換させましょう。



**伊方原発をとめる会**

790-0003 愛媛県松山市三番町5-2-3ハヤシビル3F  
電話 089-948-9990 FAX 089-948-9991  
HP <http://www.ikata-tomeru.jp>